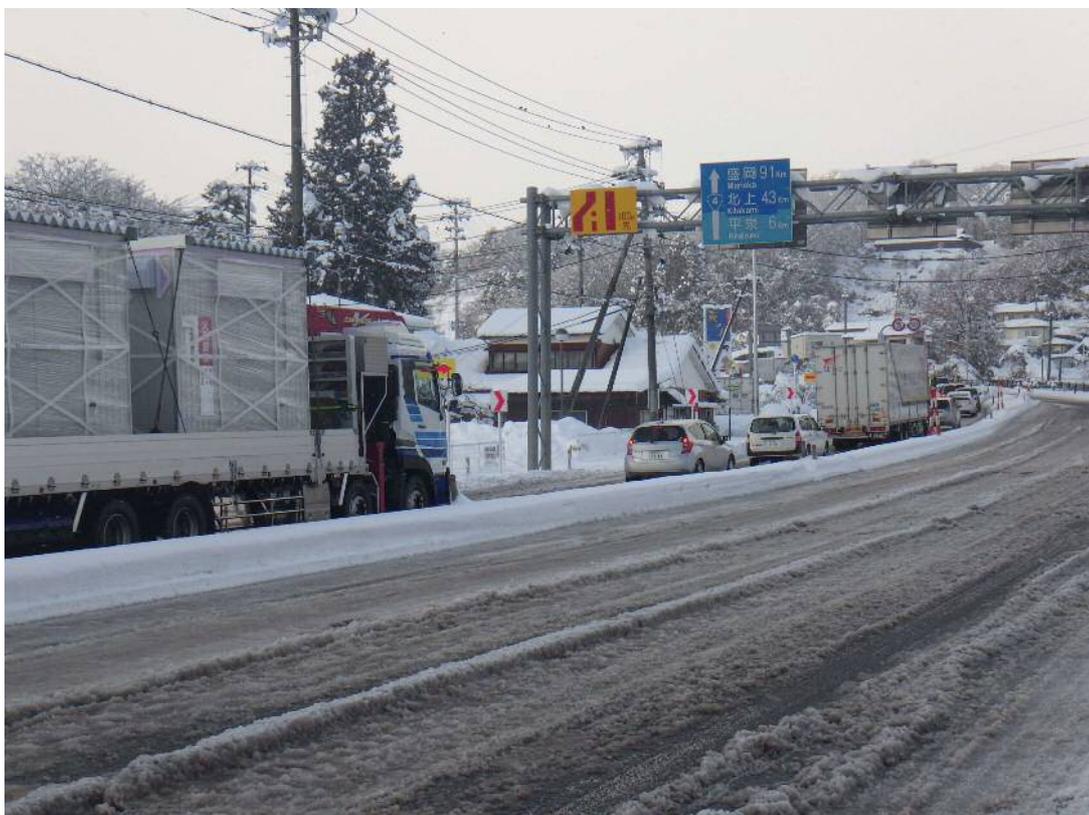


令和4年11月8日

〈道路整備事業に係る〉

要 望 書



積雪時、大規模な車両滞留が発生する一関市大槻交差点付近

国道4号一関平泉地区4車線化整備促進期成同盟会
広域道路・国道284号整備促進期成同盟会
国道342号整備促進同盟会
国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会
新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会

**国道4号一関平泉地区
4車線化整備促進期成同盟会**
〔一関市 平泉町〕

国道4号の4車線化拡幅整備について

一関市及び平泉町では、人口減少社会や高齢化社会に向けた対応として、本市が持つ地域資源などを生かした地域経済の成長や産業振興に取組み、安定した雇用の創出に努めているところです。

2020年に訪日外国人旅行者数4000万人の国の方針が示されたインバウンド観光では、観光地等の魅力の情報発信や受入環境の整備に取り組むとともに、年間約200万人の来訪者がある「世界文化遺産 平泉」を核とし、当市の観光資源を組み合わせた周遊観光ルートの形成により、交流人口の拡大を目指しているところです。

また、国道4号沿線にあるトヨタ自動車東日本株式会社の岩手県金ヶ崎工場と宮城県の大衡工場を核として、岩手県南地域、宮城県北地域を中心に、自動車関連産業が集積され、国道4号を物流路線としたサプライヤー間の部品輸送が多く行われております。

このような中、新型コロナウイルス感染拡大による観光産業をはじめとした地域の社会経済活動へ与えた影響は大きく、今後の回復が強く望まれるところであります。

国道4号は、物流や観光などの活動をより一層推進し、分散型社会の構築に向けても欠かすことのできない重要なインフラであり、国道284号、342号、457号及び主要地方道一関北上線等の東西幹線道路が接続する主要幹線道路となっております。

一関市、平泉町内における国道4号の2車線区間（大槻交差点から平泉バイパス南口交差点までの区間、高梨交差点から宮城県境）は、ボトルネックによる渋滞が多いうえ、東北自動車道の通行止めが発生した際の影響が大きいことから、災害に備えた4車線化等とダブルネットワークの強化が望まれています。

以上のことから、地方を創生するための産業振興、観光振興をより一層推進し、新型コロナウイルス感染症収束後の経済のV字回復を図り、冬期間や緊急時においても安全で安定した走行を確保できる強靱な交通基盤を形成するため、下記の事項について要望します。

記

- 1 大槻交差点から平泉バイパス南口交差点までの区間の4車線拡幅整備
- 2 高梨交差点から宮城県境までの4車線拡幅整備

令和4年11月8日

国道4号一関平泉地区4車線化整備促進期成同盟会

会長 一関市長 佐藤善仁



広域道路・国道 284 号整備促進期成同盟会
〔一関市 平泉町 気仙沼市〕

国道 284 号の整備促進について

国道 284 号は、宮城県気仙沼市と岩手県一関市を結ぶ幹線道路であり、「三陸復興国立公園」や「平泉の文化遺産」といった広域的な観光交流拠点を結ぶ観光ルートでもあります。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の際には、沿岸部からの避難路、内陸部からの救援物資の輸送路として機能し、重要な役割を果たしました。

近年は、国内各地において、台風による大雨や水害などが頻発しており、非常時に安定して機能する道路ネットワークの構築は急務となっております。

令和 3 年 12 月には、国の復興道路に指定されている三陸沿岸道路が全線開通し、また国の復興支援道路に指定されている横軸の路線として、岩手県中央部では宮古盛岡横断道路が、県中部においては東北横断自動車道釜石秋田線が高規格道路として整備されましたが、岩手県南部・宮城県北部においても横軸となる道路ネットワークの構築を進めていく必要があります。

国道 284 号の整備については、着々と進められているところであり、平成 22 年 11 月には J R 大船渡線の跨道橋の高さ制限と交通隘路区間の解消を図るため、一関市千厩町の「清田工区」が完成し、平成 24 年 8 月には一関市滝沢地内の線形不良、幅員狭小、急勾配等の隘路区間の解消と一関東第二工業団地へのアクセス道路及び幹線道路の機能向上を目的に「真滝バイパス」が開通し、平成 30 年の 4 月には、J R 大船渡線の踏切での渋滞、跨道橋の高さ制限と交通隘路区間の解消等を図るため、一関市室根町の「室根バイパス」が開通しました。令和 3 年 1 月には、急勾配・線形不良区間であった一関市真滝地区から弥栄地区までの「石法華工区」が開通しております。

これらにより、安全で円滑な交通確保と内陸部と沿岸部の交流促進、被災した

沿岸地域の復興加速に向けて大きな弾みになるものと期待されております。

このような状況の中、令和3年6月に岩手県が公表した「岩手県新広域道路交通計画」において、国道284号は広域道路のうち、高規格道路以外の道路で、求められるサービス速度がおおむね40km/h以上である一般広域道路に位置付けられたところです。

しかし、国道284号は、いわて県民計画長期ビジョン及び復興推進プランにおいて「復興支援道路」に位置付けられているものの、幅員狭小、急カーブ、急勾配など未整備箇所もあり、「地域高規格道路」に準じた規格の高い広域道路として、より一層の整備促進が望まれております。

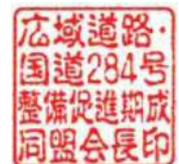
つきましては、このような状況をご理解いただき、次の事項について要望申し上げます。

記

- 1、一関・気仙沼間道路の高規格化の早期実現
- 2、三陸沿岸道路へ円滑に直結する道路の整備
- 3、室根町高沢地内の主要地方道本吉室根線との交差点の右折レーン設置

令和4年11月8日現在

広域道路・国道284号整備促進期成同盟会
会 長 一関市長 佐藤 善仁



国道 342 号整備促進同盟会

〔一関市 登米市 横手市 東成瀬村〕

国道 342 号の整備促進について

国道 342 号は、秋田県横手市を起点として、東成瀬村から「栗駒国立公園」を横断し、岩手県一関市を經由して、宮城県登米市の国道 45 号合流点を終点とする広域幹線道路であり、岩手県内陸南部の工業団地と宮城県沿岸北部に位置する石巻港を結ぶ物流ルートであるとともに、「横手市増田」の国指定 重要伝統的建造物群保存地区から「平泉の文化遺産」、日本三景「松島」及び「三陸復興国立公園」を結ぶ観光ルートでもあります。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の際には、沿岸部からの避難路、内陸部からの救援物資の輸送路として機能し、重要な役割を果たしました。

近年は、国内各地において、台風による大雨や水害などが頻発しており、非常時に安定して機能する道路ネットワークの構築は急務となっております。

国道 342 号の整備については、着々と進められているところであり、東成瀬村では、成瀬ダム建設事業に伴う付替一次供用区間として「夢仙人トンネル」及び「夢仙人大橋」が平成 24 年 4 月に部分開通しました。また、一関市では、「巖美バイパス」が平成 25 年 6 月に整備を完了し、「花泉バイパス」が平成 26 年 8 月に全線開通しており、令和 4 年 3 月には「白崖工区」の供用が開始されております。

これらにより、車両や歩行者の安全で円滑な交通確保と秋田・岩手・宮城 3 県の産業・経済・観光の交流促進、さらには、三陸沿岸被災地の復興加速に向けて大きな弾みになるものと期待されております。

しかし、国道 342 号は、いわて県民計画長期ビジョン及び復興推進プランにおいて「復興支援道路」に位置付けられているものの、秋田・岩手県境は積雪で冬期間が通行止めとなっており、また、岩手県境から宮城県にかけては幅員狭小や急カーブなど未整備区間が多く、内陸と沿岸を結ぶ幹線道路として、より一層の整備促進が望まれております。

つきましては、このような状況をご理解いただき、次の事項について要望申し上げます。

記

秋田県横手市・東成瀬村

- ^に郷から^{ころ}狐狼化までの雪崩防止対策
- 冬期間通行止め区間のゴールデンウィーク前の早期解除
- ^こ小五里台工区^りの早期整備

岩手県一関市

- ^{しら}白崖地区^がの整備済区間以南から宮城県境までの早期整備
- ^{おお}大槻交差点から一関東工業団地を経て、^か金沢地区^ざまでのルート変更
- 冬期間通行止め区間のゴールデンウィーク前の早期解除

宮城県登米市

- ^や柳津小学校から^な柳津大橋^いまでの歩道整備
- ^と登米大橋^よ付近の整備促進
- ^{しん}新上沼^うバイパス^ぬの整備

令和4年11月8日

国道342号整備促進同盟会

会長 一関市長 佐藤 善仁



国道 343 号・広域幹線道路整備促進同盟会

〔一関市 大船渡市 陸前高田市 奥州市 平泉町〕

新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会

国道 343 号の整備促進について

国道 343 号は、陸前高田市から一関市を經由し奥州市を結ぶ幹線道路であり、内陸と重点港湾である大船渡港を結ぶ物流ルートであるとともに、「平泉の文化遺産」、「三陸復興国立公園」、「橋野鉄鉱山・高炉跡」といった観光拠点を結ぶ観光ルートでもあります。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、沿岸部からの避難路、内陸部からの救援物資の輸送路として機能し、重要な役割を果たしました。

近年は、国内各地において、台風による大雨や水害などが頻発しており、非常時に安定して機能する道路ネットワークの構築は急務となっております。

令和 3 年 12 月には、国の復興道路に指定されている三陸沿岸道路が全線開通し、また国の復興支援道路に指定されている横軸の路線として、岩手県中央部では宮古盛岡横断道路が、県中部においては東北横断自動車道釜石秋田線が高規格道路として整備されましたが、岩手県南部においても横軸となる道路ネットワークの構築を進めていく必要があります。

国道 343 号の整備については、着々と進められているところであり、平成 26 年 3 月には、一関市大東町大原地内の「大原バイパス」が、令和 3 年 3 月には、大原地区から摺沢地区にかけての線形不良や急勾配箇所を解消するため、新たに渋民地区と大原地区を結ぶ「渋民バイパス」が供用開始となりました。

これにより、安全で円滑な交通確保と内陸部と沿岸部の交流促進等、沿岸被災地の震災からの復興加速に向けて大きな弾みになるものと期待されております。

しかし、国道 343 号は、いわて県民計画長期ビジョン及び復興推進プランにお

いて「復興支援道路」に位置付けられているものの、幅員狭小、急カーブ、急勾配など未整備箇所も多くあり、内陸と沿岸を結ぶ幹線道路として、より一層の整備促進が求められております。

さらに、復興を見据え、新たな沿岸部のまちづくりに必要となる地域産業の再生と発展を力強く支援するため、主要な物流拠点や観光拠点を最短で結ぶ安全なルート¹の確立が急務となっております。

つきましては、このような状況をご理解いただき、次の事項について要望申し上げます。

記

1、新笹ノ田トンネルの早期事業化

2、陸前高田市^{やはぎ}矢作町^{ちよみみきり}耳切^{うめき}・梅木地区、一ノ渡^{いちのわたしばし}橋周辺の改良整備

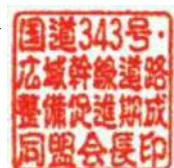
3、一関市東山町^{ひがしやまちょうよこさわ}横沢から平泉町箱石橋^{はこいしばし}までの道路建設

4、奥州市水沢黒石町^{くろいしちょうつるぎ}鶴城^{おおくぼ}・大久保地区北上川治水対策事業と併せた兼用堤による改良整備及び藤橋^{ふじばし}の歩道設置

令和4年11月8日

国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会

会長 一関市長 佐藤善仁



国道 343 号 新笹ノ田トンネルの早期事業化について

国道 343 号は、いわて県民計画長期ビジョン及び復興推進プランにおいて「復興支援道路」と位置付けられ、命と暮らしを守る道路としても重要性を増しております。

陸前高田市と一関市の境にある笹ノ田峠は、幅員狭小や急峻な山地を越えなければならない地理的条件から交通の難所となっており、積雪寒冷地という気象条件により、特に冬期間は、交通に大きく支障をきたしております。

近年は、国内各地においても、台風による大雨や水害などが頻発しており、その被害は以前にも増して甚大になっており、非常時においても輸送路・避難路として機能する道路網の確保は急務であります。

令和 3 年度には、国の復興道路に指定されている三陸沿岸道路が全線開通し、沿岸と内陸を結ぶ幹線道路の整備が今後ますます重要となります。国の復興支援道路に指定されている横軸の路線としては、岩手県中央部では宮古盛岡横断道路が、県中部においては東北横断自動車道釜石秋田線が高規格道路として整備されましたが、岩手県南部においても、横軸となる道路ネットワークの構築を進めていく必要があります。

国道 343 号においては、平成 27 年度には、土砂災害により長期間の車両通行止めが発生しており、新トンネルの整備による安全・安心な交通の確保と所要時間の短縮が求められています。

平成 26 年度には、新トンネルの実現に向けて、沿線自治体においては、商工業や観光、農業関係団体などが中心となって署名活動が展開されました。

一関市においては、当初の目標数である 5 万人を大きく上回る 7 万 7,938 人の署名が、また、陸前高田市においても、当初の目標 1 万人を上回る 1 万 3,554 人

の署名が、短期間の活動にもかかわらず合わせて9万人を超える署名が集まったところであり、大船渡市、住田町の住民を含め、沿線住民の早期事業化への大きな期待が示され、国及び県に対して署名簿を提出することで、住民の強い思いを届けたところでもあります。

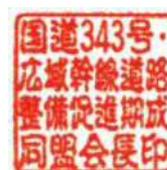
新笹ノ田トンネルの実現は、これから10年、50年、100年先の地域の将来を見据えた上で極めて重要であり、沿岸部と内陸部を結ぶ物流、雇用及び観光用道路として、関係地域の地方創生とともに、観光振興・産業振興等の地域経済の活性化を図るため、必要不可欠であります。

厳しい自然環境に阻まれる国道343号沿線地域において、長年の悲願であり、東日本大震災の復興加速及び地域間交流・連携強化のためにも早期の事業化が強く望まれております。

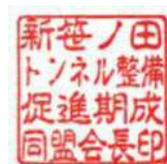
つきましては、このような状況をご理解いただき、「新笹ノ田トンネル」の早期事業化について特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

令和4年11月8日

国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会
会長 一関市長 佐藤 善仁

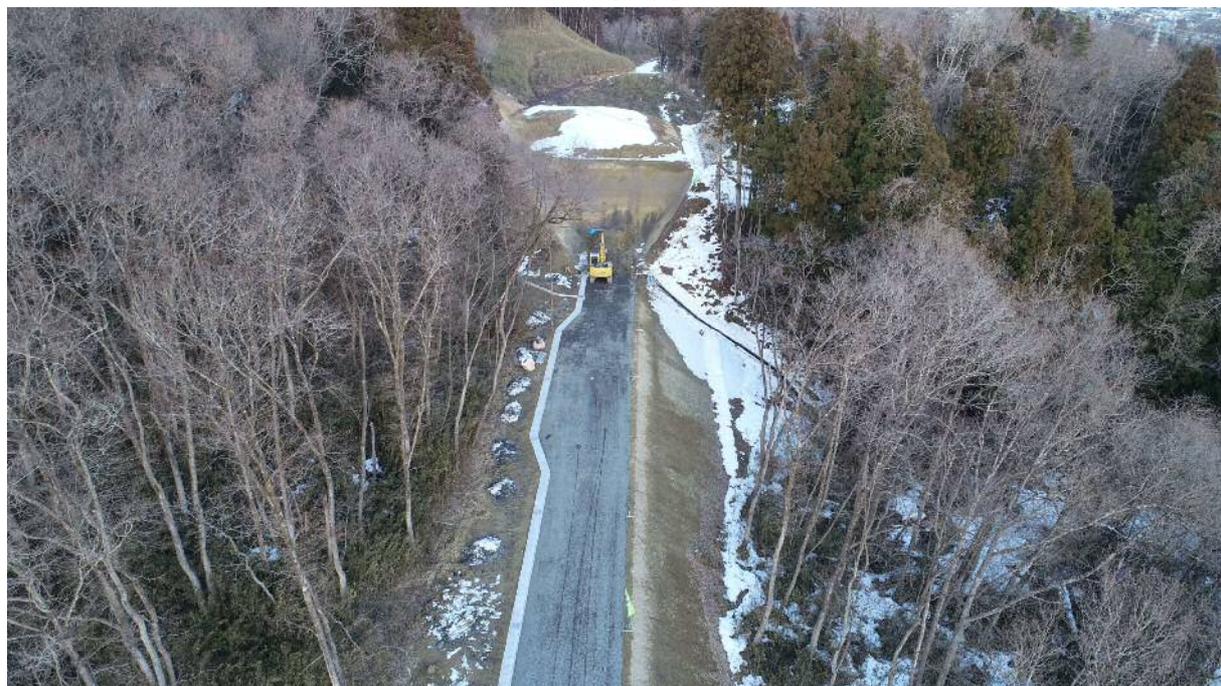


新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会
会長 一関商工会議所 会頭 小岩 邦弘



要 望 書

至 一関市街地



至 平泉町

令和5年3月の開通に向け整備が進む一関市の市道
(一関市道中条外山線)

栗原北上線県道昇格促進協議会

〔一関市 北上市 奥州市 金ヶ崎町 平泉町 栗原市〕

栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

(仮称) 栗原北上線の県道昇格について

宮城県北、岩手県南に位置する当地方は、栗駒国定公園、栗駒山麓ジオパークや中尊寺、毛越寺に代表される「平泉の文化遺産」など、自然や歴史の豊かな地域特性に恵まれております。

一方、国道4号西側の栗原市金成から平泉町までの区間は、南北の幹線道路が東北縦貫自動車道及び国道4号の2路線のみとなっており、行楽シーズンや年末年始、また、集中豪雨や大雪等の災害により、東北縦貫自動車道が通行止めになった場合には、国道4号に車両が集中し、通行に大きな支障をきたしております。

甚大な被害を受けた平成20年6月の岩手・宮城内陸地震及び平成23年3月の東日本大震災においては、被災地のいたるところで橋梁や道路が分断され、孤立する地域が発生するなど、被災住民の救助や救援物資の輸送などが大きな課題となりましたが、複数の幹線道路があれば、平時はもとより、災害発生時においても迂回路や輸送路として十分な機能を果たせます。

奥州市胆沢から北上市の国道107号までは、広域農道として整備された道路が市・町道として管理し、国道4号の補完路線として大型車両による広域的な利用が大半となっておりますが、岩手県において、平成23年11月から平成26年2月までに計8回、県道昇格検討会において検討をいただき、平成28年4月に「一般県道前沢北上線」として県道認定いただきました。

残る宮城県栗原市金成から岩手県奥州市胆沢までの区間についても、国道4号を補完する幹線道路として、県道昇格されますよう特段のご配慮をお願いいたします。

令和4年11月 8日

栗原北上線県道昇格促進協議会

会長 一関市長 佐藤 善仁



栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

会長 大森 忠雄

